

院内トリアージ実施について

当院では緊急度の高い患者様を優先して治療する院内トリアージ体制を実施しています。

時間外・深夜・休日には、看護師が患者様の状態を確認の上、緊急度を判定し、緊急度の高い方から順に診察を行います。

そのため、順番が前後する場合がございますが、 何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、待ち時間が長時間に及ぶ場合には、一定時間 経過後に再度緊急度を確認させていただきます。

また、お待ちの間に症状の変化がございましたら、 遠慮なくお申し出ください。

救急診療時間帯の重症患者様への迅速な治療のため、 皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

> 千葉西総合病院 2025年5月

院内トリアージ実施基準

1、目的

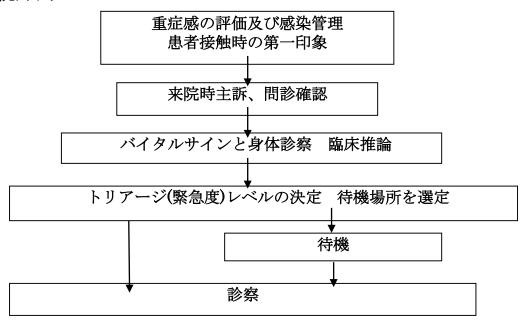
・生命を脅かす病態にある患者を迅速に見極め、適切な診療・治療の優先順位、診療 場所・待機場所を決定するため。

(混雑した外来で、軽症患者の中からいかに緊急度・重症度の高い患者を見つけ、診療や 治療が素早く開始されることを目的とする)

- ・待機患者の再評価と必要な看護介入を決定するため。
- 2、トリアージの判定基準(JTAS に準拠)

緊急度判定 レベル	診察の必要性	症状の特徴例	再評価の目安
レベル1 蘇 生	積極的な診察・治療が必要	心停止・重症外傷・痙攣持続・高度な意識障害など	治療の継続
レベル2 緊 急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛・激しい頭痛や腹痛・自傷行為など	15分ごと
レベル3 準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧・痙攣後の状態(意識は回復)など	30分ごと
レベル4 低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症・縫合を必要とする創傷(止血済み)など	1時間ごと
レベル5 非緊急	2時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー症状、軽度の外傷など	2時間ごと

- 3、院内トリアージの流れ
 - ①受付
 - ②主訴·問診確認
 - ③トリアージの実施
 - ④待機及び診察
- 4、院内トリアージのプロセス



2017年6月作成 2025年2月22日改正 医療法人 徳洲会 千葉西総合病院